

6月10日(火)、ホテルで大勢の外国人に交じって、朝食をいただきました。広島には外国からの観光客が多いということを実感しました。最後の目的地は四国、というか、瀬戸内海です。

前日 E 子さんに電話したところ、時間を取ってくれるということで、大三島に向かうことにしました。大三島は愛媛県今治市内、瀬戸内海にあります。福山駅前から「しまなみ海道」を通る高速バスの「しまなみライナー」に乗るのが、一番いい方法だと聞き、さっそく福山に向かいました。



尾道から出る「しまなみ海道」は瀬戸内海に隙間なく並ぶ島々をつなぐ橋を通して、今治まで約60キロの西瀬戸自動車道です。そのほぼ真ん中にあるのが大三島です。因幡の白ウサギの話のように、海の上をピョンピョン飛ぶように行けるとは、本当に夢のようなことなので、ワクワクしながらバスに乗りました。けれども島と島が近すぎて、海の上というロマンを味わう気分にはなれませんでした。それでも、橋を渡る時、海が見え、絶景の場所もあり、海の向こうに山が見え、飽きることなく眺めながら大三島に着きました。「しまなみ」という名前でしたが「やまなみ」と言ってもいい程、日本は島でさえ、山また山の国なのです。バス停に E 子さん夫妻と義父の3人が出迎えてくれました。農業の経験をお持ちの父上は最高の助っ人ということで、よく手伝いに来られるそうです。

E 子さんは私の生徒の一人でした。ユーモアを交えた真面目なお話しをしてくれる女性です。結婚後、千葉県に住んでおられましたが、あの東日本大震災を経験されたのです。E 子さん夫妻は2012年に、大三島に移住し、バイオの研究から、農業へと転換したのです。お二人はとてもお元気でした。ご夫君の日に焼けた覚悟の決まった面構えと、彼女の悠然としている笑顔を拝見し、本当に嬉しくなりました。慣れない、始めたばかりの農作業ですから、猫の手も借りたいほど忙しいとのこと。貴重な時間をご一緒できて、感謝です。彼女のブログを紹介し、引用します。

3.11 で日本は大きく変わらざるを得ないと思います。…中略…

そして東電福島第一原発事故 今も莫大な量の放射性物質を 海に空に放出し、地球を汚染しています☠

水、空気、土が激しく汚染された今、果たしてこれからの日本で安心して食べられるものはあるのだろうか👩🏻

事故は未だ収束しておらず、今なお過酷な現場で決死の作業に当たられている原発作業員の方々に感謝と敬意を表します。原発は、人間の欲望が産み出してしまったもの。

3.11 以後は豊かさ重視の価値観を見直す必要があります👩🏻

食料・エネルギー・廃棄物処理などなど 地方や弱者に依存し負担を強いるような、また一企業が独占するような社会を改めなくてはなりません。経済も大都市に集中させるのではなく、各地域でお金を循環させるようなシステムを作る。これからは「持続可能な未来」「食料・エネルギーを地域で賄う、自立したコミュニティ社会」の構築が必要となると思います。しまなみで自分達でなるべく安全(低農薬、放射能の影響が少ない)で美味しい食べ物をつくり、沢山の人が食べてもらえるよう頑張りたいです。 <http://ameblo.jp/shimanami-farm/entry-11188138726.html>

高齢化による耕作放棄、また、農村の後継者不足など、日本の農業の展望は厳しいものがあります。困難な道を、それでも希望を持って真剣に取り組むお二人を応援したい気持ちで一杯です。